

# 2005年 IMTS



# DARPA アーバンチャレンジ





# 社会還元加速プロジェクト(2008～2012)



出典：日本自動車研究所

# スマート交通流制御研究会



# Google Car ハンドル無しモデル





# CEATEC 日産の自動駐車



# ITS世界会議@デトロイト



HONDA



GM

TOYOTA



# 本日の次第

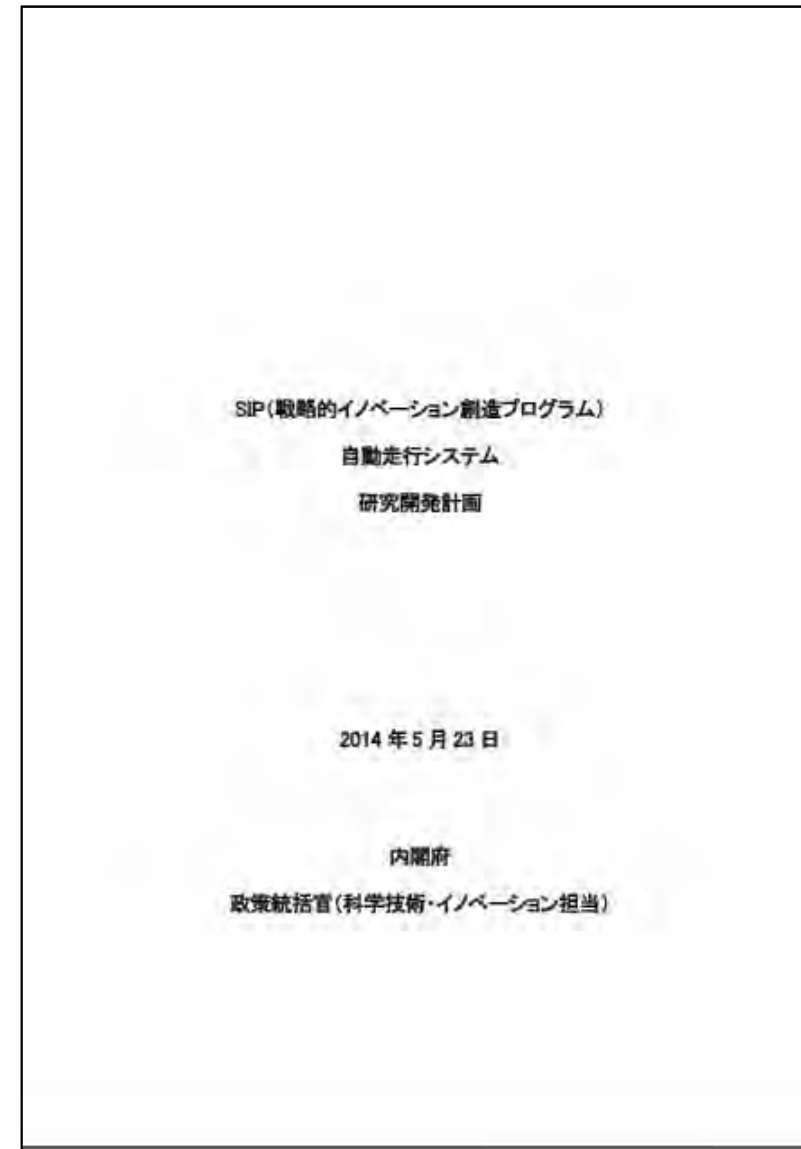
1. SIPの紹介
2. 自動運転の歴史
- 3. SIP-adusの取組紹介**
4. 国際会議の案内
5. 質疑応答





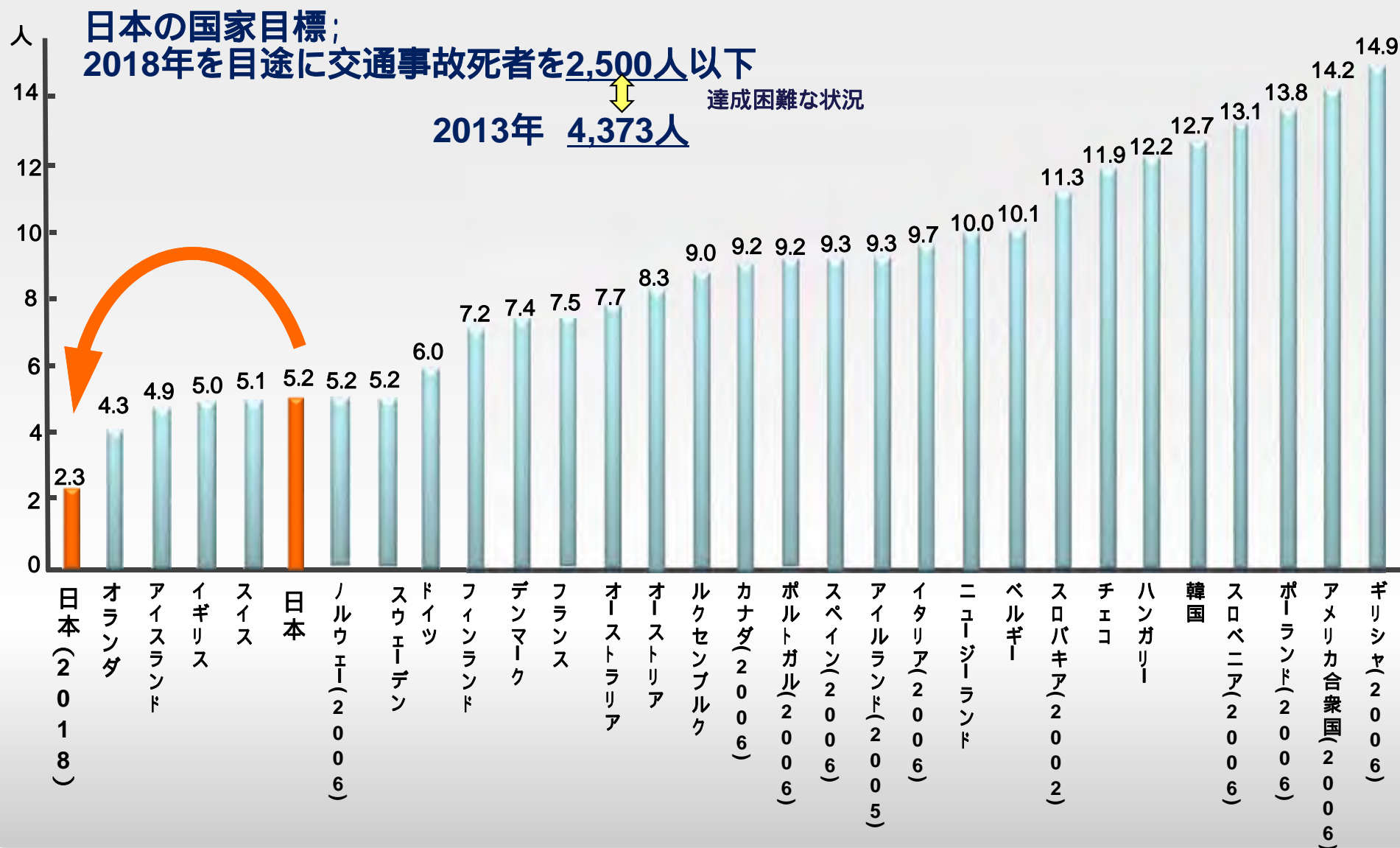
# SIP - adusの取組紹介

- ・2013末 議論検討開始
- ・2014.5.23 研究開発計画発行



# 交通事故死者低減国家目標の達成に向けて

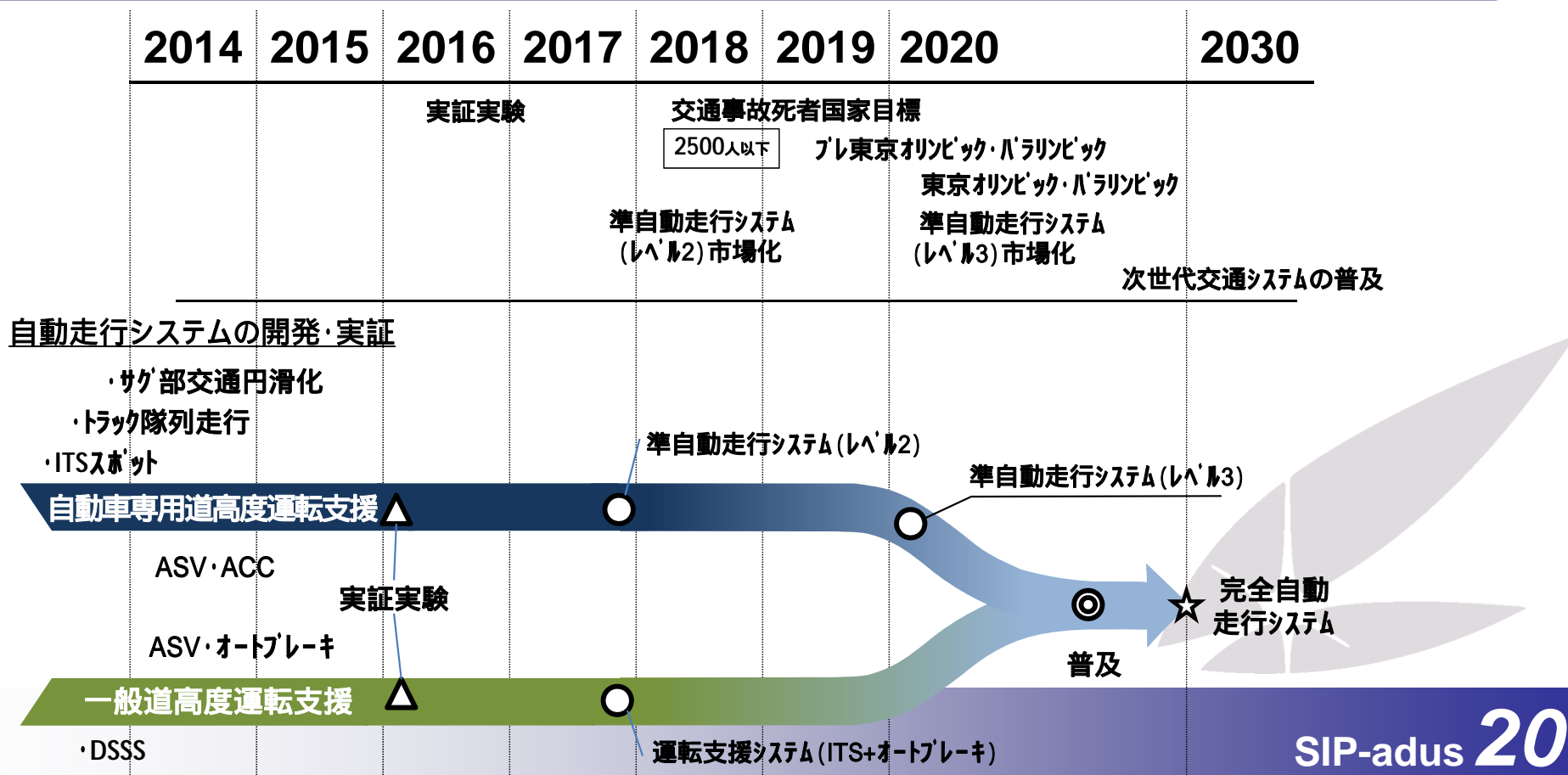
## 人口10万人当たりの交通事故死者数



出展:内閣府資料より(2009)

# ロードマップ







- 1 . 交通事故低減等 国家目標の達成 : 国家目標達成の為の国家基盤構築
- 2 . 自動走行システムの実現と普及 : 一気通貫の研究開発と国際連携  
同時進行による実用化推進
- 3 . 次世代公共交通システムの実用化 : 東京オリンピック・パラリンピック  
を一里塚として開発推進





# 自動化レベルの定義と期待実現時期

 実用化
  計画

完全自動走行システム	レベル4	加速・操舵・制動全てをドライバー以外実施。 ドライバーが全く関与しない状態	2020年代後半	
高度運転支援システム	レベル3	加速・操舵・制動全てを自動車が実施、 緊急時のみドライバーが対応する状態	2020年代前半	 <span style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 2px;">旅客機・新幹線</span>
	レベル2	加速・操舵・制動複数を同時に自動車が 行う状態	2017年以降	
安全運転支援システム	レベル1			 
運転支援なし				

↑ 自動化レベルは道路環境に応じて変化 ↓

静的情報

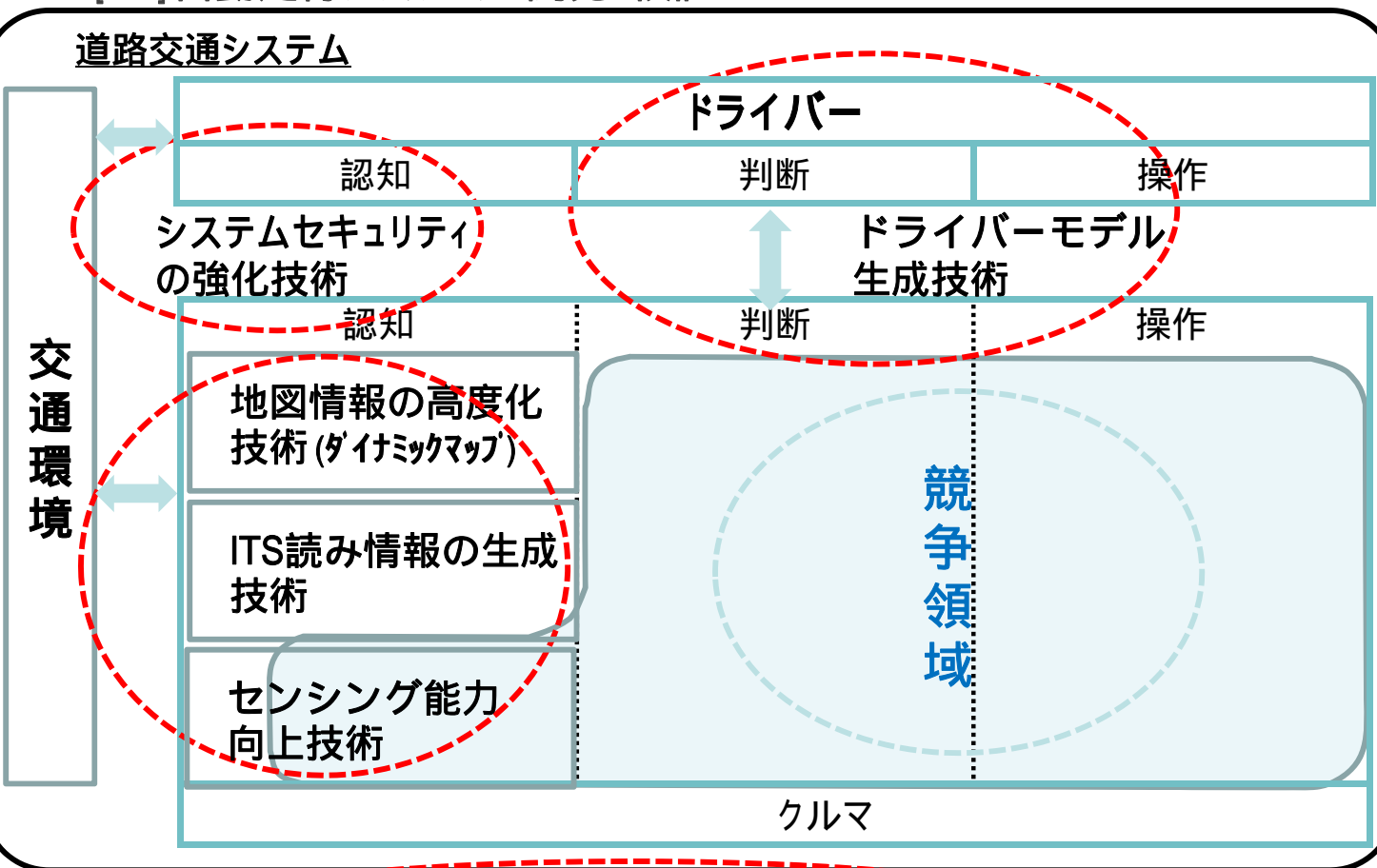
動的情報 (高度化)

管制

# 研究テーマ

- 自動走行システムの実用化に向け、国として協調して取り組むべき領域を決定。
- 基盤技術、システム開発、国際連携、イノベーションの現場（都市）を網羅的にカバー。

## [ ] 自動走行システムの開発・検証



## [ ] 国際連携の構築

国際的に開かれた  
研究開発環境の  
整備と標準化推進

自動走行システム  
の社会受容性の  
醸成

国際パッケージ  
輸出体制

地域マネジメント  
の高度化

次世代公共道路  
交通システムの  
開発

アクセシビリティ  
の改善と普及

## [ ] 次世代都市 交通への展開

協調領域  
(SIPの取組み領域)

死者低減効果見積もり手法 & 国家共有データベース  
ミクロ・マクロデータ解析とシミュレーション技術  
地域交通CO<sub>2</sub>排出量可視化技術

## [ ] 交通事故死者削減・渋滞低減のための基盤技術の整備

# 本日の次第

1. SIPの紹介
2. 自動運転の歴史
3. SIP-adusの取組紹介
- 4. 国際会議の案内**
5. 質疑応答





# 国際会議のご案内

## Workshop on Connected and Automated Driving Systems

**目的:** 本プロジェクトの成果を発信するとともに、国際連携活動においてリーダーシップを発揮する。

**主催:** 総合科学技術・イノベーション会議  
戦略的イノベーション創造プログラム

**日程:** 2014年 11月17日-18日

**会場:** 国連大学 ウ・タント国際会議場

**テーマ:**

- 1) 走行環境のモデル化
- 2) 通信による走行環境情報の取得
- 3) 人と走行システムの関係
- 4) 自動走行技術の安全・効率・モビリティへの貢献
- 5) 自動走行による都市交通の革新

# 本日の次第

1. SIPの紹介
2. 自動運転の歴史
3. SIP-adusの取組紹介
4. 国際会議の案内
- 5. 質疑応答**



# SIP - adusで何を変えようとしているのか？

## 人々に笑顔をもたらす交通社会を目指して Mobility bringing everyone a smile

1. 交通事故を減らす。国家目標の達成。
2. あなたに笑顔をもたらす社会  
アクセサビリティの改善  
移動の自由と喜び  
渋滞緩和
3. 車のダイナミクスが進化  
もっと ファン トウ ドライブ になる
4. 新産業の創生。国際競争力アップ。
5. 自由討議

